

かこが話・和・輪

2015年10月

第 1 号

会長あいさつ

このたび、総会の承認をもって、不詳私が会長に選任され、その任にあたることになりました。一方責任の重大さに、身が引き締まる気持ちがあります。「かこがわ人の会」は、故森橋会長を中心に創設され、幾多の業績をお残しになっておられます。業なかばにして急逝せられました。会の停滞は会の発展を阻むものであり、前会長の遺志にもそむくことでもありますので、私ども会の責任を分担しております者が協議の結果、総会規約にしたがった互選により、私が会長のバトンを引き継ぐこととなりました。

幸い役員の皆様は優秀な方々ばかりです。会員皆様方のご協力、ご支援を得て以下の事業達成に全力をつくす所存でございます。

1. 我々会員は、加古川観光協会・すっきや加古川さんと連携して事業を行います。
2. 我々会員は、目的達成に向け研修会、懇親会を開催します。
3. かこがわ検定合格を目指す人達の励みになる活動をします。

以上を達成する為に、全会員の「やるき・本気・根気」をモットーに「かこがわ人の会」としての誇りを持ち地域に何を残すかを念頭に全力をつくしてまいります。

以上をもって所信の一端を申し述べ就任のご挨拶といたします。

(記村 忠勝)

平成27年度 通常総会

平成27年5月24日(日) 14時~16時、駅南まちづくりセンター4階ホールにて通常総会が開会され、司会は5期生の山脇さんが務めました。

故、森橋美智子初代会長への黙禱に始まり、吉田顧問から激励のお言葉をいただきました。

新入会員として、7期生11名の入会があり、自己紹介で心強い抱負などお聞きし、記村会長の決意表明のもと27年度がスタートしました。



「かこがわ人の会」役員 担当部会

総務部会—記村 高田 長谷川美 畑

研修部会—田中 濱田裕 松尾威 山下 山田

広報部会—上野 濱田美 藤原

新入会員紹介 2015年(7期生)

一井 よしみ

寺家町に生まれ小学3年の時に平荘町へ。今また母校近くの栗津で暮らしています。加古川以外に住んだのは結婚後4年間のみ。この50年間の加古川市の発展と移り変わりをこの目で見てきたこととなります。

そんな私の大切な加古川なのに、この3年間の検定の勉強でまだまだ知らないことが多すぎると実感しました。

晴れてかこがわ人に認定頂きましたのを機に、今後さらに郷土加古川について学んでいきたいと思えます。



大西 毅

私は平岡町生まれの平岡町育ちですが、町内の地理や建造物については知らないものが多いです。時間の許す限り、名所めぐりでもやってみたくと思っています。

私事、町内会のある役員とし、公民館レッスンにも参加し、忙しいし、楽しい毎日を送っています。

今後、かこがわ人の会の先輩の方々にはお世話になります、よろしくお願いいたします。

河本 洋治

大阪生まれの鳥取育ち、現役時代、加古川に住まいするも、約半世紀、神戸市兵庫区勤務の為、地域の情報に疎く、地元の見所・歴史・著名人など知りたく、現役隠退を期にかこがわ検定に挑戦、このたび「かこがわ人の会」に入会させていただきました。

旅行と温泉巡り・盆栽を趣味として余生を楽しむ傍ら、何らかの形で地域にも溶け込んでいきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

神吉 照明

事情あり、4年前実家に戻り母親の介護しながらの・・・68歳、小形のシングルです。

かこがわ検定での学習で、かこがわ人でありながら、かこがわのこと、あまりの無知さに愕然としました。かこがわのこと、もっともっと物知りになりたい、学習を続けていく想いです。

濱田 雅司

生まれも育ちも尾上町の新会員、濱田雅司です。還暦を迎えたのを機に故郷加古川の事をもっと知りたくて検定を受験しました。

加古川の地理・歴史・風土をこの目で確認し、身を以て体験し、変貌する加古川の一助になりたい。

松下 栄邑

加古川に在住して40年余になるが、仕事一筋であったため加古川のことは無知に近かった。3年間のかこがわ検定受験でかなりの知識を授かることができ少し安堵している。

今後は新旧Kako-styleの再読、イベントへの参加及び趣味のウォーキングを兼ねた名所・史跡等の見学を増やし更なる能力の向上を図りたい。(先々は観光ボランティアガイドを目指したい)

森田 茂

好きなところ加古川市へ応援
日本の中心・子午線近くの、加古川市
あらゆる産業が、活躍する、加古川市
何でもかんでも好奇心駆り立てる、加古川市
これからも魅力ある<加古川>へと、成長途上中
です。

ガイド冊子4編作成

昨年、加古川観光協会や東播磨県民局地域課からの依頼を受け、東はりま光姫の里ウオーキングツアー（志方町編・西国街道編）の観光案内をしました。

今後もガイドの依頼を受けるにあたり、「かこがわ人の会」の会員誰もがどこでも地域案内ができるよう、研修部を中心にガイド冊子（A5サイズ）4編①鶴林寺編 ②日岡編 ③本町・西国街道編 ④志方町編を作成しました。



* これら冊子を活用した研修会を通じ、あなたも是非観光ガイドデビューをしてみませんか

日岡を歩く 案内ボランティア初体験の記

10月1日（木）雨、激しくは無かったが最後まで雨。姫路市船町の公民館関連の「郷土史探訪」等のグループ御一行様27名老若男女（若い人は居なかった、全て立派なシルバーさんで女性の方が多かった）をJR日岡駅に迎えて約2時間案内した。

たまたま戌（イヌ）の日で安産祈願の参拝者が多く、賑わっているところを紹介出来て、「安産の神様」日岡神社の面目を保てたところか。

2グループに分けて日岡神社⇒日岡御陵⇒O A Aハリマハイツ⇒大野常楽寺を歩いたが、案内人は、記村・田中・高田のベテラン3氏と初めての私。

出だしの説明で躓いたら後々尾を引くと思ったので、とにかく入口の隋神門（隨身門）だけは一生懸命暗記した甲斐あって、用意されたマイクも使うことなく無事終了のつもり。

付け刃の準備で、年号とか神さんの名前がナカナカ頭に入らず我が脳味噌がうらめしかったが、終わってみれば神道とか播磨風土記のこととか、学校時代に名詞だけ覚えた素通りよりは深く広く学べた様で、ああこういうことやったんかいなと納得することもありマアマアおもしろかった。

（松尾 威）



参加者の声

- ・コースの中では、特に日岡神社・日岡御陵・展望台がよかった。
- ・ガイドの丁寧な説明・時間配分もよかった。
- ・雨だったが、散歩道がよかった。

鶴林寺親子文化財教室ボランティアガイド

7月26日、夏休み恒例行事「親子文化財教室」が鶴林寺で開催されました。「かこがわ人の会」のメンバー17名がガイドとして参加しました。参加者親子約80名は無料で、通常は見られない国宝太子堂、鐘楼の内部を見学することができ、さらに撮影が可能で、各対象箇所ではガイドによる説明が受けられ、小中学生の夏休みの自由研究にはもってこいの企画です。

「かこがわ人の会」メンバーは、各々の知識と、研修部会で作成した「鶴林寺ガイド」冊子、自分で調べた資料などを持ち、熱心に、丁寧に説明し、質問にも適格に答えて参加者から喜ばれていました。

夏休みの一日、親子共々、加古川を代表する歴史の宝庫「鶴林寺」を堪能されたようです。当日は天気にも恵まれ、ガイドを担当された会員さんも生き生きされていたのがとても印象的でした。今年に参加できなかった方々も、次回、是非ガイドとして参加されてはいかがでしょうか。

参加者・子どもたちの声

- ・昔のことがわかり、聖徳太子のことがわかってよかった。
- ・説明が難しいところも少しあったが、ガイドブックを読んだりしてわかった。
- ・あいたた観音さまが素晴らしかった。歴史が好きで、友達と来て色々説明もあり良かった。
- ・聖徳太子関連のことがいろいろ聞けて良かった。
- ・「私のほうが興味あり、今回初めて訪れました。」と言われるお父さんやお母さんもあり、熱心に耳を傾けられ、太子堂では「床の材質は何?」「九品来迎図の『上品上生』とは何?」の質問あり。
- ・仁王門の壁面になぜ大きなわらじがつるされているの?



ガイドの感想

- ・聞き手を前に説明して、自分の勉強になった。
- ・いい経験の場になりました。
- ・今日の鐘楼の説明が、次回どこかで鐘を見る時の知識になればいい。



ガイド担当箇所

- 本堂 …有川、増田、栗原、田中
- 太子堂 …松尾、高田、山田、記村
- 鐘楼 …河合、原、濱田(裕)、濱田(美)
- 宝物館 …正井、山下、藤井、滝澤、上野

「ノスタルジー加古川～Kako-Style～写真展」に協力

すっきゃ加古川さんよりお手伝いの依頼あり。

8月30日(日) きらめく兵庫フェスティバル in KAKOGAWA

9月6日(日) 寺家町蚤の市

10月4日(日) 寺家町蚤の市

上記イベントで、写真を観ている人からの質問に答えたり、説明をしたりして Kako-Style 2 の販促に協力するというものでした。3日間で延べ12名の手伝いがあり90冊程売れました。

お疲れ様でした。

Kako-Style 2 発刊

平成27年4月29日（昭和の日）、待望の「Kako-Style 2」が発刊されました。記念イベントが「かこむ」で行われ、出席者全員によるテープカットでお祝いました。当会から22名の会員も取材ボランティアとして、情報収集に東奔西走しました。取材アポイントをとるのに気を使いましたが、笑顔で取材に応じてくださりやりがいがあったと話される会員さんもおられました。

5年ぶりの第2弾、会員の思いがこもった、グレードアップした一冊になったと思います。来年度以降の「かこがわ検定」の新しい公式テキストになる「Kako-Style2」を手にとり、おおいに加古川を語り合しましょう。

踊っこまつり審査員に

毎年5月に加古川市役所前広場などで開催されている第17回踊っこまつりに、「かこがわ人の会」から審査員として、西尾、田中両名が参加しました。加古川市役所前広場の本部競演場の審査員席でパワーあふれる踊っこさんの熱気に圧倒された一日でした。

審査は「踊っこ部門」と「自由部門」があり「踊っこ部門」は専門的な知識が必要ですが、「自由部門」は素人でも審査ができる内容でした。両部門とも審査員は5名ずつで「自由部門」への参加は20団体で、遊び心、受け狙い、可愛さ、意外性、艶っぽさ、温かさ、力強さの7項目を各10点で採点し、5名の合計点で表彰が決まります。審査項目毎の表彰も同様に決まります。演舞は午前10時30分に始まり、16時30分ごろ終了しました。

表彰は19時30分過ぎから始まり、1日が終わりました。自分が高い点数をつけたチームが表彰された時はちょっぴりうれしかったです。

「かこがわ人の会」の会員、栃尾さんが踊っこまつりのPR誌に「チーム踊人」のメンバーとして紹介され、表紙にもイラストで描かれていたのは、とても印象的でした。

踊っこまつり運営にも、「かこがわ人の会」から7名がボランティア参加していただき、踊っこまつり審査員の貴重な体験ができました。
(田中義勲)

天気もまずまずの3日間、まつりがスムーズに運ぶよう、また、踊られた方、来場された方に良いふれあいを持っていただけるように皆さん活躍されていました。



うきうきバンビーナ（かこがわ学）出演依頼のお願い

すつきや加古川さんからの依頼を受けて、出演を始めてから1年がたちました。
是非、多くの方々に出演していただきたくご案内いたします。

日時：火曜日 12時45分から7分程度

場所：BANBAN3階スタジオ（電話での出演も可）

（当日午前中に担当者から電話があり、簡単な打合せがあります）

内容：大好きな加古川のことを話そう！（神社仏閣・史跡・文化・人・まち・・・など）

原稿持参OK、是非一度拝聴して下さい。

年	月日	担当	内容
2014年	10月21日	藤原ひとみ	かこがわ人の会の説明
	11月4日	田中義勲	播磨の国風土記
	11月18日	河合勝彦	春日神社
2015年	1月6日	若松千恵子	Kako-Style2作成
	1月20日	田中義勲	神社に鳥居のない話（稲根神社）
	2月3日	河合勝彦	関東震災横死供養塔（安楽寺）
	3月24日	藤原ひとみ	播州弁・方言
	4月7日	田中義勲	亀之井用水
	4月21日	河合勝彦	七騎顕彰碑（称名寺）
	6月9日	有川優一郎	花の寺鶴林寺
	6月23日	田中義勲	上部井用水
	7月7日	河合勝彦	加古川図書館
	8月25日	藤原ひとみ	ガイド冊子作成
	9月8日	田中義勲	道路元標
	9月22日	河合勝彦	志方城山
		11月10日	
	11月24日		
2016年	12月8日		
	1月26日		
	2月9日		
	2月23日		

他の火曜日はすつきや加古川さんが出演されています。

連絡先：BANBAN担当 藤原ひとみ 090-8578

ボックスギャラリーを活用しよう！

平成27年6月より「かこむ」1階窓際に設置してあるボックスギャラリーに「かこがわ人の会」コーナーができました。PRの場として大いに活用しましょう！（スペースw90×D50×H35）
只今、高田さんの竹細工と活動日記を展示中。会員の皆様の力作を披露してみませんか？

ロッカールーム活用を！

「かこむ」受付左のロッカールーム（N0、111）を会員相互の連絡用に活用ください。

広報誌「話・和・輪」のネーミング

広報誌のタイトルを募集し17件の応募がありました。広報部会で検討した結果、「かこが話・和・輪」に決定。話（かこがわを語る） 和（なごやかに） 輪（輪意味が込められています。今後共よろしく願いいたします。

編集後記

2009年5月会の発足とともに、歩みとして活動日記が編纂されてきましたが今年度より、新たに「かこが話・和・輪」に形を変え、皆様のお手元に～。

ドキドキ第1号です。

広報部